

弥彦村の小林村長2期目初日

セレモニーなく職員訓示5分間

早くも3期目続投視野に

弥彦村をよくするために

施策の一つに『ワイン特区』

一月の村長選で再選を果たした小林豊彦弥彦村長は二十二日、二期目の任期をスタート。二十二日午前八時半から役場会議室で二期目の訓示を行い、職員約四十人が集まるなか、早くも三期目の続投を視野に「弥彦村をよくするため、未来を輝かしたいものにするため、皆さんと一緒にある程度の道筋ができるまで、これからも頑張りたい」と抱負を述べた。

村長選は一月二十七日果たした。任期は二月二日を迎えて花束贈呈などの日、投票が行われ、小十二日からの四年間。セレモニーを行うのが通例だが、小林村長の意向



二期目の訓示を行う小林村長

でセレモニーは行わず、職員への訓示だけとし、出席も庁内の職員にとどめた。

訓示で、小林村長は「この四年間いろいろなことをやってきて、いろいろ批判を受けた。だが、村民の皆さんからは私の行状のやり方いい、もう四年間やれと支持を受けた。これからの四年間は従来通りの姿勢を貫いたやり方やっていきたいと思う。それが二期目の当選をさせていただいた気持ちだと思つので、それを引き続きやっていきたい」と決意を述べた。

今後の施策については「この四年間で弥彦村は本当に素晴らしい村だとよく分かった。この村に生まれて、村長にさせていただいてよかった。本当にポテンシャル、未来がある。この未来をこれからの四年間でさらに現実のものにするために一緒にやっていきたい」と述べたうえで、新しい施策の一つとして「ワイン特区」の認定をめざす考えを明らかにした。

既に新潟市西蒲区のアナリー関係者によるワイン醸造の計画があることを説明し、「このことから観音寺に畑四反(約四百平方メートル)を借りてブドウの木を植えて栽培に乗り出すと言ってくれた。全面的に支援しようと思つて、そうすると若い人が村に来てくれる。県も全



職員四十人が出席した二期目の訓示

面的に支援すると言つて初のころは場合によつてくれた。今のは一つの例は二期でいいかなと思つたが、いろいろな可能性を秘めている」と述べた。シンシャルがあつて、それを踏まえて「最良の可能性がある村。

それをある程度見極めて、場合によつては次の選挙も立候補するかもしれない」と三期目の続投を示唆。

最後は「弥彦村をよくするため、未来を輝かしたいものにするため、皆さんと一緒にある程度の道筋ができるまで、これからも頑張りたいと思つので、これからもよろしくお願ひします」と職員への協力を呼びかけた。

訓示は五分ほどで終わり、小林村長は通常の公務に戻った。

見積無料

修理・リフォーム

屋根・雨とい・外壁

(有) 神田板金

神田板金 三条 検索 《社員募集中!!》

三条市荻堀 電話 0256-46-3072